

委員会報告

常任委員会の活動状況を報告します。

総務文教常任委員会 平成22年 8月19日 開催
産業厚生常任委員会 平成22年 8月18日 開催

総務文教 全体計画は了承 大吹地区宅地開発事業

新たな計画の主な内容は、
① 開発面積を都市計画法に関わる開発行為の申請手続きを要しない約2951㎡とすること。
② 計画地内のほぼ中央に幅員6mの道路を整備し、その両側に4区画づつ計8区画の宅地を造成すること。
③ 1区画の平均面積は296㎡(約89坪)

販売単価は1㎡当たり1万9000円弱(1坪当たり6万円)で、販売価格を558万円程度とすること。
この3点に加え、造成工事およびその他の工事を含めた全体計画は了承するものの、道路幅員が適当であるか再度検討するよう求め、隣接土地所有者との緊密な関係を維持するよう提言しました。



ゴール目指してがんばれ、がんばれ(保育所運動会)



▲難視聴地域に指定された亀ヶ崎地区

総務文教 町民の不安解消へ 広野町電波遮へい対策 事業費等補助金

来年7月24日までに現在のアナログ放送から地上デジタル放送へと移行されるにあたり、山間部等のデジタル難視聴地域で、地上デジタル放送を受信するための共同受信施設を新設する場合には、国や県、市町村、NHKなど種々助成制度があり、助成金等の交付先は共聴組合であり各世帯への交付ではないこと、また町内の難視聴地域をつぶさに調査しているとのことでした。
テレビ放送が開始されてから初めてのごとであり、不安を持っていらっしゃる町民も多いと思われ、十分な説明を行い不公平が生じることのない配慮を要望しました。

産業厚生 新しい取り組みを 国民健康保険の現状

本町の国民健康保険加入世帯における医療費の特徴は、主に社会的要因と高額医療費であるとの分析が示され、入院の原因となる疾患は、長期入院患者や入院以外でも長期治療が必要な患者も多く、薬剤費用も高額になる傾向にあるのとことです。
年々ふくらむ医療費を適正化するため、脳ドック検診や子宮頸がんワクチンの接種、ヒブワクチンの接種に対する助成制度の創設などを実施し、少しでも重症化の解消に努めたいとのことでした。
保健師の人的配置は十分であるか、さらには健康づくりの意識の高揚、特定検診の受診率向上、また国民健康保険税未納者の解消に向けて、町独自の新しい方策を考えるよう提言しました。

産業厚生 徹底した指導を 農産物加工施設整備事業

建設予定地としていた二ツ沼直売所南側の駐車場は、直売所の駐車場として利用されていること、面積的に手狭であるため二ツ沼総合公園南側駐車場の一部に変更し、建設費の財源は電源交付金であり、加工調理器具および事務用品等の購入費については町単独費

で「企業組合ひろの」への補助金としたい旨、さらに年度内工事完了へ向けて取り組んでいるとのことでした。
建設地の変更にも苦言を呈しながらも、最良の場所ではないかという意見が出されました。また、加工品によっては夜間や早朝の利用も考えられるので、駐

車場の管理、照明器具の設置等を十分に検討するとともに、次年度より町からの補助金は考えていないとのことですので「企業組合ひろの」が独り立ちできるように要望しました。



▲心地よい汗をかきながら健康づくり(ハイキング教室)